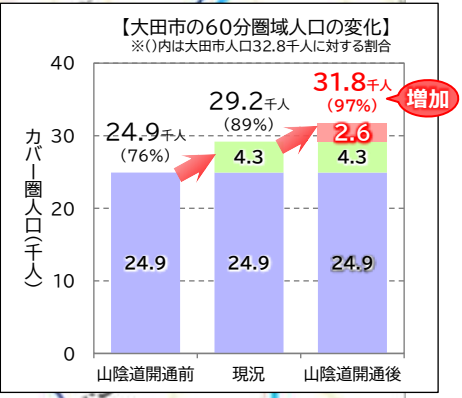
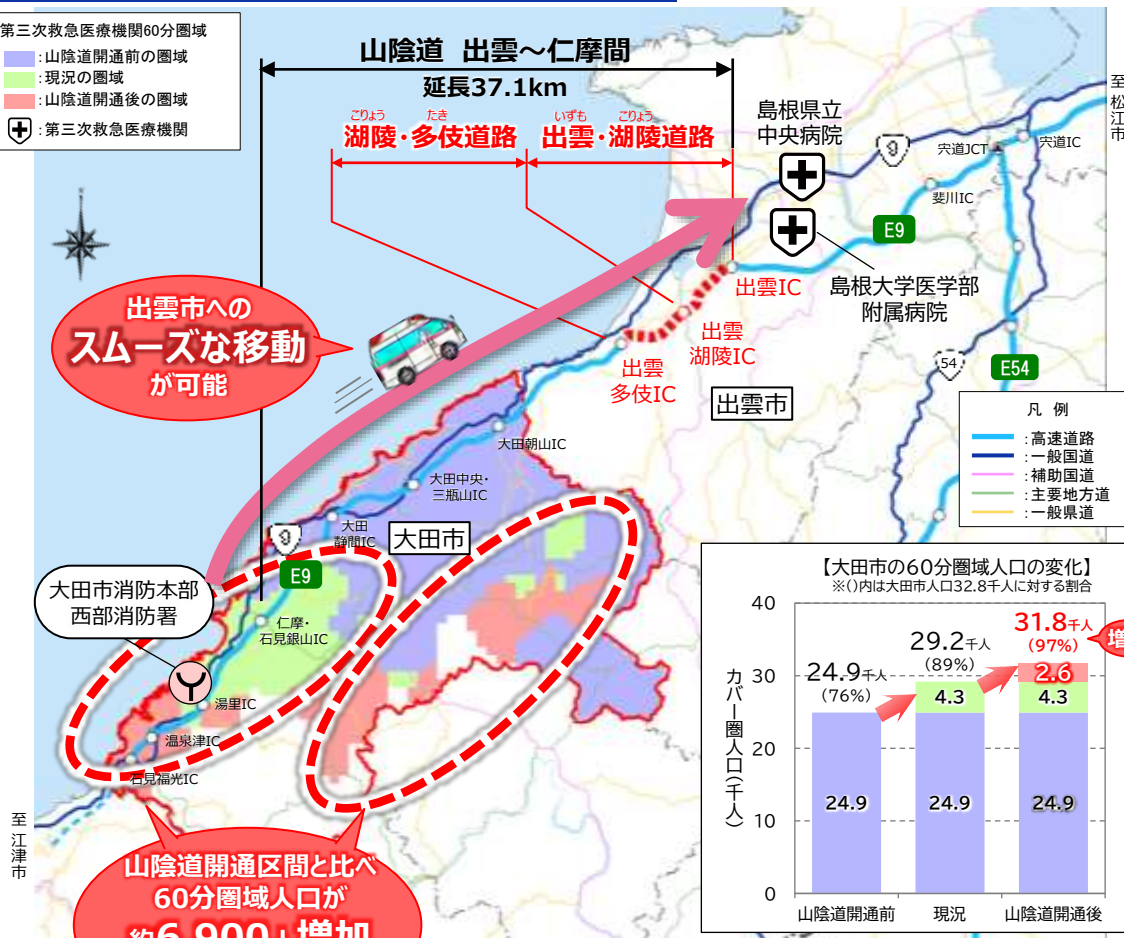


地域安全保障の確保（救急医療）

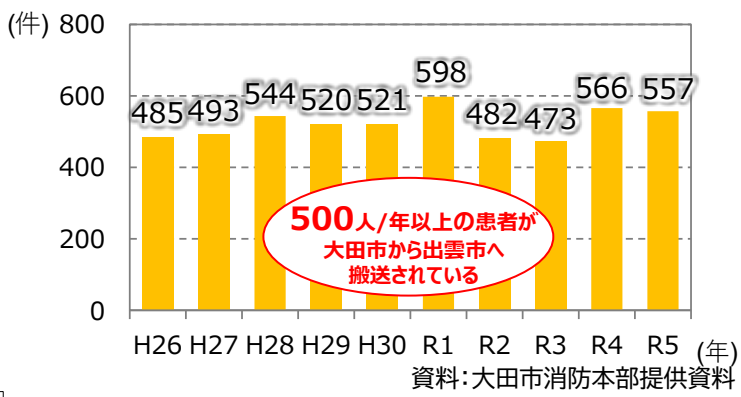
- 大田市から出雲市への第三次救急医療機関に、年平均500人以上の患者が搬送されています。
- 市を跨いでの搬送では、搬送時にかかる時間や路面状況等の影響で患者に負担がかかっていました。
- 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通によって、出雲市と大田市が山陰道でつながり、**第三次救急医療機関の60分圏域が増加**するほか、**スムーズな移動により救命処置の安定や患者への負担軽減**が期待されます。

■ 第三次救急医療機関への60分圏域の変化



※出雲市の第三次救急医療機関から大田市内4ヶ所メッシュ中心までの最短時間の算出結果より整理
 ※速度はR3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度
 ※大田・静間道路、静間・仁摩道路はETC2.0(R6.8)の混雑時旅行速度
 ※出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路は70km/h
 ※人口はR2国勢調査(地域統計メッシュ)

■ 大田市から出雲市への搬送状況



■ 医療関係者の声

- 現道の線形不良区間を利用せず、路面状態の良い高速道路を通ることで、**救急車内での救命処置が安定**する。
- 大田市以西から出雲市方面の病院への、時間短縮効果が見込める等の、**救急搬送の更なる速達性や安全性の向上**が期待できる。

(R6年6月 大田市消防本部 ヒアリング調査結果)

- 出雲市～大田市間の高速道路が開通すれば、**搬送時間が短縮し、病院へのアクセスも良くなる**ことで救命率の向上につながる。
- ドクターカーにおいても**高速道路の方が圧倒的に搬送や処置がしやすい**。

(R6年9月 島根大学医学部附属病院 ヒアリング調査結果)